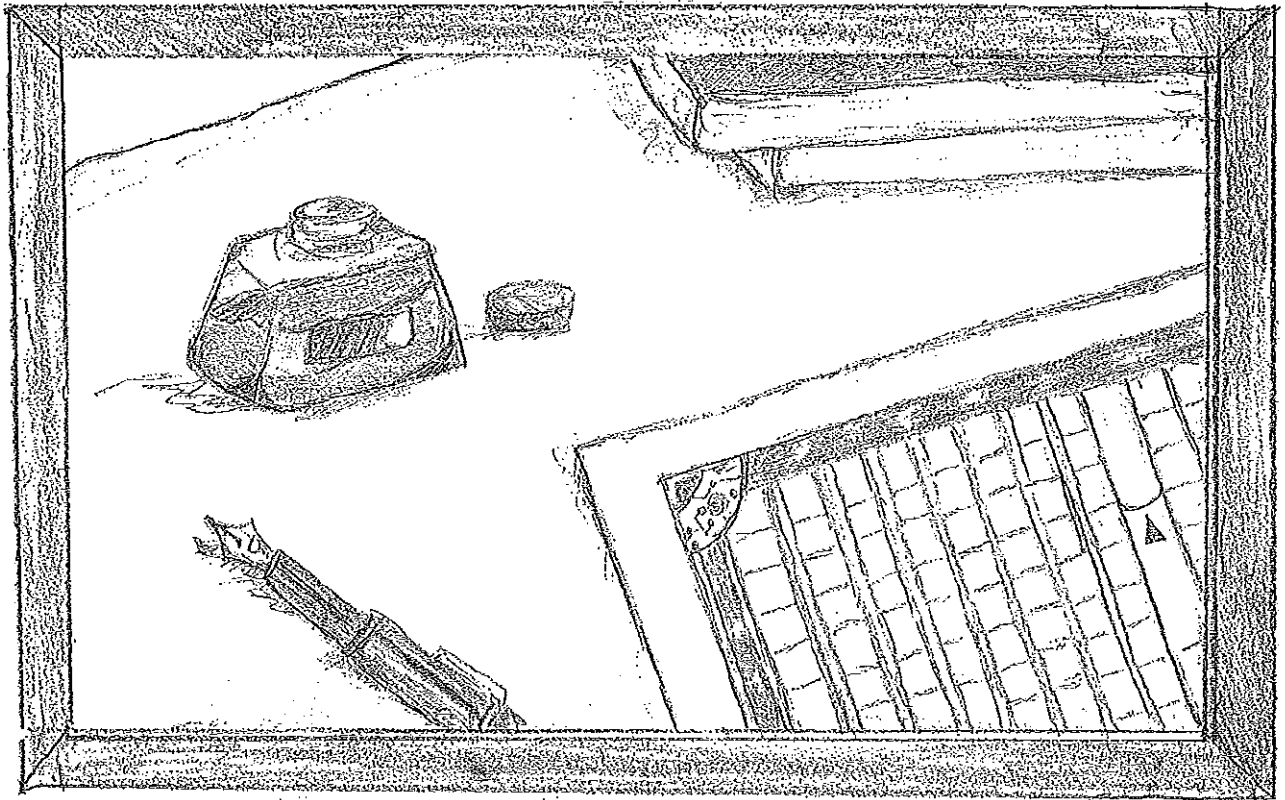




令和2年度 「私たちの未来」 中間発表会

令和2年10月24日（土）

発表要旨集



（ ）年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

福井県立美方高等学校

表紙イラスト：美術部 井口萌 （2年1ホーム）
美術部 稲田萌葉子（2年1ホーム）

令和2年度 福井県立美方高等学校「私たちの未来」中間発表会実施要項

1. 開催日時 令和2年10月24日(土) 13時00分～15時30分(12時30分より受付)

2. 詳細日程

司会： 下南智也(2年1ホーム)

13時00分より 開会行事(第1体育館)
校長挨拶・諸注意

A 口頭発表の部

13時15分～13時55分 (第1体育館)

時程	内容
13:15	口頭発表① 地域探究 「地元に戻りたくなる町作り」 発表者： 宮下妃海 森下ゆず 藤長志帆 江戸紗奈 助言者： 美浜町長、若狭町教育長
13:35	口頭発表② スポーツ探究 「地元でスポーツ体験、見学会を催し、町の活性化につなげる」 発表者： 田辺雄翔 田辺太一 丸山千翔 馬野彩加 助言者： 岡出美則教授(日本体育大学)

B ポスター発表の部

14時05分～15時15分 (第1, 2体育館)

時程	内容
14:05～14:40	ポスター発表①
14:40～15:15	ポスター発表②

15時15分～15時30分 閉会行事(第1体育館)

ご高評： 大泉 徹教授(福井県立大学)

御礼の言葉： 大谷愛(2年1ホーム)

※ 本校はこの夏に福井県で結成された「ふくいSDGsパートナー」の一員になりました。探究するすべてのグループが共通課題として、持続可能な開発目標(SDGs)を視野に入れています。

口頭発表の部

概要

時間 13時15分～13時55分

会場 第1体育館

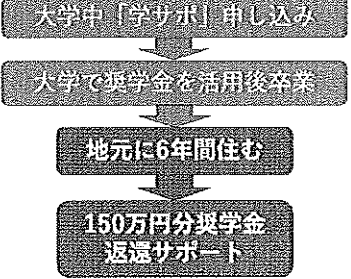
No	
1	地元に帰りたくなる町作り 宮下妃海 森下ゆず 藤長志帆 江戸紗奈
2	地元でスポーツ体験、見学会を催し、町の活性化につなげる 田辺雄翔 田辺太一 丸山千翔 馬野彩加

地元に帰りたくなる町作り

福井県立美方高等学校

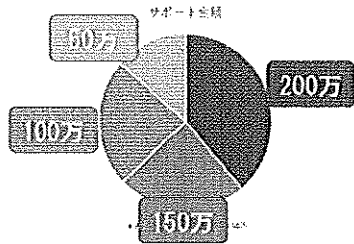
宮下妃海 森下ゆず 藤長志帆 江戸紗奈

私たちが調べた動機は、奨学金返済応援制度を導入すればたくさんの若者が帰ってきて町を活性化させられると思ったからです。またこの制度があれば私達も実際に帰ってきたいと思うからです。この制度を提案するために美浜町と若狭町の役場にたくさんの質問をし、また美方高校 1.2 年生にこの制度があれば帰ってきたいと思うかというアンケートをとりました。この制度を私たちの町に導入して、1度地元を出た若者が帰ってきたいと思う町になるといいなと思っています。

<p>1</p> <p>地元に帰りたくなるまちづくり</p> <p>1ホ-ム 宮下妃海 藤長志帆 森下ゆず 江戸紗奈</p>	<p>2</p> <p>提案 各市町村に 学生サポートセンター (学サポ) 設置</p>
<p>3</p> <p>提案した理由</p> <ul style="list-style-type: none">・若者に帰ってきてもらって、町を活性化させるため。・このよう制度があったら、帰ってきたいと思うから。	<p>4</p> <p>学サポとは</p> <ul style="list-style-type: none">・奨学金返還応援制度・生活支援制度
<p>5</p> <p>奨学金返還応援制度とは</p>  <pre>graph TD; A[大学中「学サポ」申し込み] --> B[大学で奨学金を活用後卒業]; B --> C[地元に6年間住む]; C --> D[150万円分奨学金返還サポート];</pre>	<p>6</p> <p>1つ目</p> <p>1年間の間に1人が収める税金の金額</p> <p>35万</p> <p>35万 × 6年 = 210万</p> <p>⇒ 給付金額は150万円なので損はない ⇒ 6年以上住む人がいれば町が豊かになる</p>

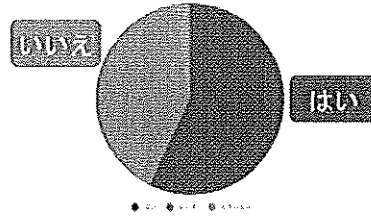
7

アンケート結果
いくらのサポートがあれば帰ってきたいか



8

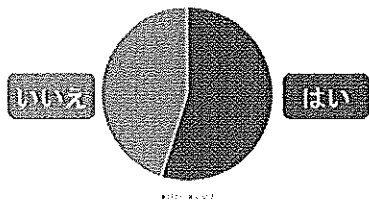
アンケート結果
地元に戻ってきたいか



9

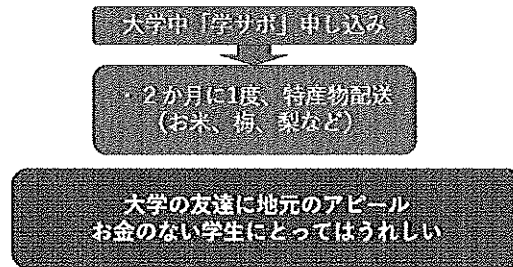
アンケート結果 (地元に戻りたくない人)

奨学金の返還制度があれば帰ってきたいか



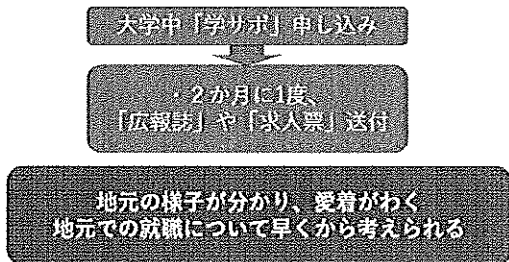
10

生活支援制度とは



11

生活支援制度とは



12

以上のことから

- 奨学金返還応援制度
- 生活支援制度

「学サポ」の設置を提案

地元でスポーツ体験、見学会を催し、町の活性化につなげる




福井県立美方高等学校

田辺雄翔 田辺太一 丸山千翔 馬野彩加

若狭町や美浜町にはスポーツができる環境が十分にある。また、スポーツは人々に勇気や感動を与える力を持っている。だから、若狭町や美浜町を発展させるためにスポーツを通して多くの県内外の人や外国人を呼び込んで町の活性化につなげたいと思った。また、スポーツのイベントを行い、いろいろな人との交流を深め町の経済発展につなげたいと思っている。

<h3>地元でスポーツ体験、見学会を催し町の活性化につなげる</h3>	<h3>動機</h3> <p>グローバル化が進んでいる現在だからこそ、人々が国境を超えて交流することが求められているため</p>
-------------------------------------	--

<h3>提案</h3> <p>海外の人も対象 「スポーツ見学・体験会 with 美方高校生」 の企画・実施</p>	<h3>提案理由</h3> <ul style="list-style-type: none">・魅力を伝えることで町の活性化につながる・海外の人も対象なので高校生の語学力向上
---	---

<h3>SDGs</h3>  <p>すべての人に健康と福祉を</p>  <p>人や国の不平等をなくそう</p>	<h3>基礎知識</h3> <p>・活性化・・・人との交流が盛んになり、経済が働き交流人口や観光人口が増えていくこと。</p> 
---	---

背景

若狭町、美浜町には・・・
スポーツが十分にできる環境が整っている。



その魅力をうまく発信できていない！

環境

ボート競技に適した湖
信号のない道（駅伝の練習）
剣道などができる体育館

仮の体験会

（内容）

文化祭のときに3つのスポーツを体験してもらった。

（体験してもらったスポーツ）

①エルゴ②剣道③マット

アンケートの結果

「なぜ会場に来たのか」

- 興味を持ったから。
- 体験したことのないスポーツを体験したかったから。

スポーツの持っている力

- 人を呼び込む力
- 人との交流を盛り上げる

「スポーツ見学・体験会」とは

町のイベント（お祭りなど）で
「スポーツコーナー」の設置

【ボート・剣道】

受付で参加者を集める。

「スポーツ見学・体験会」とは

無料バスでそれぞれの会場へ移動

- ・高校生の部活動見学
- ・高校生とスポーツ体験

まとめ

スポーツを通して交流をすることで町の活性化につながり。
高校生の学びの場面も増える。

ポスター発表の部

概要

時間 14時05分～15時15分

会場 第1体育館

※ポスター発表について

聴衆の時間は、最初に各自の指定されたポスター発表を聴きに行きます。その後は自由に移動し、聴きたい発表のところへ行ってください。35分の中で3つ聴けるとよいです。また、発表を聴いた後に付箋にコメントを記入して発表者に渡してください。付箋は発表者の学びが深まるよう丁寧にたくさん書いてあげてください。

発表一覧		発表順番	発表場所
1	地元でスポーツ体験、見学を催し、町の活性化につなげる	②	一体
2	地元に戻りたくなる町作り	①	一体
3	海浜自然センターにたくさん高校生が来てくれるには	②	一体
4	音楽の効果で勉強効率は上がるのか	①	一体
5	試合でベストな状態を作るには	②	一体
6	観光客が食べたくなるようなスイーツを作ろう	①	一体
7	おうち時間の過ごし方	②	一体
8	ツアーを作って若狭町を盛り上げる	①	一体
9	若狭町の海洋ゴミへの対策は十分なのか	②	一体
10	原子力発電所は稼働すべきか	①	一体
11	デザインの活用	②	一体
12	嶺南の妊婦さんが不安にならないように高校生ができること	①	一体
13	テレビは動画サイトに食べられるのか	②	一体
14	保育の課題と改善について	①	一体
15	高校野球の歴史から見る今後の予想	②	一体
16	睡眠時間と疲労回復は比例するのか	①	一体
17	投球の科学	②	一体
18	カラオケ採点ライブダムAIの攻略方法	①	一体
19	JPOPの人気曲の共通点は何か	②	一体
20	VRを用いた地域活性化	①	一体
21	宇宙エレベーターと宇宙旅行について	②	一体
22	芸能人の特徴を生かして地域の活性化ができるのか？	①	一体
23	自分を好きになるには	②	一体
24	1度流行したファッションはもう1度流行するのか。	①	一体
25	音楽で人生は豊かになるのか	②	一体
26	スポーツの競技力を高めるには	①	一体
27	日本の医療満足度は本当に低いのか	②	二体
28	福井サーモンを全国の人に	①	二体
29	福井の鯖を広める	②	二体
30	スポーツで怪我をしないようにすること	①	二体
31	美浜総合公園にカフェを作ったらどうなるか	②	二体
32	イルカはどうして人気なのか	①	二体
33	マイナースポーツを広めることによって健康寿命は伸びるのか	②	二体
34	地域食材を使って健康寿命を伸ばそう	①	二体
35	若狭地域の観光客を増やすために	②	二体
36	福井県の食を堪能しよう	①	二体
37	東京オリンピックは開催すべきか	②	二体
38	人間と動物の共存	①	二体
39	今ある観光地を活性化させるためには	②	二体
40	みんなに愛される美方高校の制服とは	①	二体
41	若狭の特産物を地域と全国に	①	二体
42	空き家をシェアハウスに	①	二体
43	福井の特産品「梨」を広めたい！	①	二体
44	鳥獣被害を防ぐには？	①	二体
45	高校生が食べたくなるようなへしこ料理	①	二体
46	嶺南の町を活性化させるには	①	二体

地元でスポーツ体験、見学を催し、町の活性化につなげる

田辺雄翔 田辺太一 丸山千翔 馬野彩加

SDGs 番号： 3. すべての人に健康と福祉を, 10. 人や国の不平等をなくそう

若狭町や美浜町にはスポーツができる環境が十分にある。また、スポーツは人々に勇気や感動を与える力を持っている。だから、若狭町や美浜町を発展させるためにスポーツを通して多くの県内外の人や外国人を呼び込んで町の活性化につなげたいと思った。また、スポーツのイベントを行い、いろいろな人との交流を深め町の経済発展につなげたいと思っている。

メモ

地元に戻りたくなる町作り

宮下妃海 森下ゆず 藤長志帆 江戸紗奈

SDGs 番号： 4. 質の高い教育をみんなに, 10. 人や国の不平等をなくそう, 11. 住み続けられるまちづくりを

私たちが調べた動機は、奨学金返済応援制度を導入すればたくさんの若者が帰ってきて町を活性化させられると思ったからです。またこの制度があれば私達も実際に帰ってきたいと思うからです。この制度を提案するために美浜町と若狭町の役場にたくさんの質問をし、また美方高校1.2年生にこの制度があれば帰ってきたいと思うかというアンケートをとりました。この制度を私たちの町に導入して、1度地元を出た若者が帰ってきたいと思う町になるといいなと思っています。

メモ

海浜自然センターにたくさん高校生が来てくれるには

玉井誠乃 小山萌子

SDGs 番号： 14. 海の豊かさを守ろう

私たちは海浜自然センターに中高生を呼び込むために職員の方に質問をしたり、ホームでアンケートを取りました。現在はホームでアンケートを取った結果をふまえ、海浜自然センターの展示をよりよく見せる工夫と、手書きの解説パネルの設置を考えています。

メモ

音楽の効果で勉強効率は上がるのか

渡辺魁斗 江戸隆暁 増井創来

SDGs 番号： 4. 質の高い教育をみんなに

探究が始まった頃、ちょうどテスト期間でした。僕達はあまり勉強が捗ってなくて、どうしたら効率が上がるのかと考えたところ、音楽を聴くと勉強効率が上がると聞き、それを確かめようと考えました。勉強にも色々な種類があるので今回は計算問題だけに絞り、歌詞ありの音楽、歌詞無しの音楽、音楽無しの3パターンに分けて実験を行いました。

メモ

試合でベストな状態を作るには

松村怜治 加茂昇悟 久保来人 石川晴貴

SDGs 番号： 3. すべての人に健康と福祉を, 4. 質の高い教育をみんなに, 17. パートナーシップで目標を達成しよう

スポーツや武道の試合だけでなく、人前で話す時のメンタル状況、人が緊張するときの心理状態や不安を少なくする方法など、いろんな場面で人のメンタルが不安定になる時にどうすればリラックスしたゾーンの状態に持ち込めるかを研究します。調べようと思った動機は学生の大半がなんらかの部活動に所属していること、そして身近にいるスポーツに詳しい先生方に直接聞くことができる研究だということです。この研究をするにあたってメンタルが試合にどれだけ影響してくるかを多くの人に知ってもらって、実践してもらいたいです。

メモ

観光客が食べたくなるようなスイーツを作ろう

稲田萌葉子 矢田ほのか 下南智也

SDGs 番号： 12. つくる責任 つかう責任

福井県活性化のために福井の魅力をアピールできるようなスイーツを作る。
SNSでの拡散によって、福井県の知名度があがり、より福井県に興味を持って貰えるようになる。そのために、実際にスイーツを作った。今後、オリジナルのスイーツを作ろうと考え、今までに流行したスイーツの特徴、共通点などを調べ参考にしていきたい。

メモ

おうち時間の過ごし方

中谷寧々 八木香那

SDGs 番号： 3. すべての人に健康と福祉を

コロナによって起こった長い自粛期間の中でどんな家庭での問題がおこったのか、みんなが自粛時間でどんなことをしていたのか、もし今後自粛することになった時どうすれば充実した自粛期間を過ごせるのかについて調べました。インターネットの情報やホーム内でとったアンケートをもとに自粛時間でみんながやっていたこと、やっておけばよかったこと、今後自粛になったらやりたいことについてのランキングや、今後、自粛になったときのために充実した時間をすごせるように自粛期間でのやることリストやタイムスケジュールなどをつくりました。

メモ

ツアーを作って若狭町を盛り上げる

井口萌 芦田一葉 奥村未萌那 森下穂波

SDGs 番号： 8. 働きがいも経済成長も, 11. 住み続けられるまちづくりを

若狭町を盛り上げるためにまずわたしたちが若狭町について知り、魅力的な部分を紹介すべきだと思い、食べる、買う、見る、体験するの項目に分けて調べてみました。この項目に分けることで1日を通して若狭町を満喫できると思います。そして、これを使ったツアーを考えました。日帰りの人を減らし、より経済的にも発展していけたらいいなと思います。今回は特に岬方面について調べました。

メモ

若狭町の海洋ゴミへの対策は十分なのか

大谷愛

SDGs 番号： 12. つくる責任 つかう責任, 14. 海の豊かさを守ろう

海沿いの地区に住んでおり小さい頃から海洋ゴミの被害を目にしてきました。若狭町の大きな魅力でもある若狭湾をこれからより魅力的にするために、また現在海洋ゴミの被害を受けている方々の助けになるように今後どのような対策が必要なのかを考えたいと思っています。

メモ

原子力発電所は稼働すべきか

大野馨大朗

SDGs 番号： 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに

僕は原子力発電の仕組みや、サイクル、現在の稼働状況やメリットデメリットを調べました。原発は、なにかと話題に上がりやすいと思いますが、あまり深く知らない方が多いと思います。そこで今回、私たちの住む地域や日本で何が起きているのか、わかりやすくまとめて発表することにしました。日本の発電事情や、今後の私たちの未来についても触れています。身構えず軽い気持ちで見に来てください！待ってます！

メモ

デザインの活用

山口晃生

SDGs 番号： 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう, 12. つくる責任 つかう責任

デザイン、主にグラフィックデザインの活用について発表します。趣味のデザインを身の回りの何かに活用できないかと思い、調べ始めました。

デザインの対象として何かないか探していたところ、ちょうど募集していた福井県版SDGsのロゴマーク募集があったため応募することに。デザインを通してどのような影響を与えていけるか考えていきます。

メモ

嶺南の妊婦さんが不安にならないように高校生ができること

濱野愛結 宮下明莉

SDGs 番号： 3. すべての人に健康と福祉を, 11. 住み続けられるまちづくりを

このテーマにした理由は、嶺南の産婦人科が少ないと聞いて、妊婦が安心して赤ちゃんを産めるような町にするにはどうしたらいいか、私たち高校生に何かできることはないかと思ったからです。美浜町の「はあとぴあ」に妊婦体験の道具をお借りして、文化祭で、生徒のみんなに体験してもらいました。そして、体験する前とする後で妊婦に対する印象が変わったか、またどう変わったか、アンケートを取りました。

メモ

投球の科学

村松和哉

SDG s 番号： 3. すべての人に健康と福祉を

好投手の共通点を繋げれば、球速・コントロールは向上するのか？というテーマを設定しました。調べるにあたり、自分でも試してみながら探求を深めていこうと思っています。例をあげると、フルダウ→球速を上げるために必要な下半身のタメ→そのタメを解放しリリースすることにより強く速い球が投げられるかなど、投球の科学について調べています。

メモ

カラオケ採点ライブダムAIの攻略方法

河原聖司

SDG s 番号： 4. 質の高い教育をみんなに, 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに, 11. 住み続けられるまちづくりを

このテーマにした動機は、僕はよくカラオケに行くけれど、なかなかいい点数を取れなくて、攻略方法を知り上達して周りに広げていきたいと思ったからです。

カラオケ採点ライブダムAIの主な採点項目は、①音程②表現力(抑揚、こぶし、フォール)③リズム④安定性⑤AI感性 です。

探究前の点数は97.220点だったけれど、探究後は98.807点まで上がって100点に近づけたので、いい経験になりました！いつか絶対100点を取りたいです！

メモ

JPOPの人気曲の共通点は何か

山田遥南 坂東充気

SDGs 番号： 8. 働きがいも経済成長も

JPOPの人気曲の共通点を調べて地域活性化に繋げようと考えました。基本情報として曲はどのような要素から出来ているかまとめました。そしてコード進行を中心としてJPOPの人気曲の共通点を調べ、まとめました。コード進行の話は難しいので、どのような音なのかを発表時に流そうと思っています。

メモ

VRを用いた地域活性化

荻野泰志

SDGs 番号： 8. 働きがいも経済成長も, 11. 住み続けられるまちづくりを

VRを使って、この町の観光名所である三方五湖や瓜割の滝などの映像を見てもらい、この町に興味を持ってくれる人や実際に来てくれる人を増やしたいと思っています。遊園地やショッピングモールをつくるという方法もありますが、この方法では費用がかかりすぎる、自然を壊してしまうというデメリットがあります。しかし、VRを使った方法では費用をおさえ、自然も壊さずこの町の良さを伝えることができるとしています。

メモ

宇宙エレベーターと宇宙旅行について

川崎 侑成 森脇 拓哉

SDGs 番号： 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに, 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう, 12. つくる責任 つかう責任

"宇宙エレベーター"について深く調べる。ロケット以外の乗り物(スペースシャトル)などと比較し効率を調べる。今の技術でどこまでのことができるのか。今、日本が考えている宇宙エレベーターよりもっと効率のいい方法はないのか。

メモ

芸能人の特徴を生かして地域の活性化ができるのか？

山田彩乃 小西ひかる

SDGs 番号： 11. 住み続けられるまちづくりを

芸能人の特徴を生かして地域の活性化ができると思ったのでこのテーマにしました。曲の特徴や芸能人の売り出し方などを調べて活性化に繋げるという内容で調べています。

アンケートで嶺南の良いところや、好きな曲の種類などを聞いて、集計した結果をもとに考察しました。

メモ

自分を好きになるには

松田梨稚 今井美咲 齋藤麻乃 武笠若菜

SDGs 番号： 5. ジェンダー平等を実現しよう

動機は、自分の容姿、中身を全て受け入れるためにはどうしたらよいか気になったからです。また、今の年頃は同じような悩みをもつ人が多いと考え、少しでもそういう人たちの手助けになるようにしたいと思ったからです。

現代社会で整形をした人が批判されるという事実がある中、自分の容姿に悩みにかかえている人が多いと思い、自分たちでちょっとでもその人たちの悩みを解決したいと思ったからです。

メモ

1度流行したファッションはもう1度流行するのか。

大山このか 三好沙樹 加藤愛貴 原 灯 松原明日香

SDGs 番号： 8. 働きがいも経済成長も, 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

無駄な廃棄を減らしたい、ものを大切にしたいという気持ちからこのテーマにしました。調べたことは流行に周期はあるのかということやどうやって流行は決まっているのかということについてです。研究のまとめとして、ファッションは素晴らしいものであれば色や形を変えながら長く愛されるということが分かりました。そのため古いと思った服も数十年後に新たな形で登場する可能性があるということが分かりました。

メモ

音楽で人生は豊かになるのか

千田優晴 竹村藍里 堀江芽依 森川耀

SDG s 番号： 3. すべての人に健康と福祉を, 4. 質の高い教育をみんなに, 16. 平和と公正をすべての人に
この研究にしようと思ったきっかけは、何を調べようと考えた時調べる私達も、聞いてくれる人たちにも興味をもってもらいたかったのと、日頃聞いている音楽の良さを知りたかったので、私たちの生活と身近にある"音楽"というテーマで研究しようと思ったからです。
また、今は音楽の効果やジャンルについて調べています。

メモ

スポーツの競技力を高めるには

藤原新太 津志田匠太郎 柴田佳歩 渡邊颯

SDG s 番号： 3. すべての人に健康と福祉を, 4. 質の高い教育をみんなに, 16. 平和と公正をすべての人に
競技力を高める上で必要なものを4つの視点から考えて見て一体何が必要になってくるかを調べています。例えばトレーニングや睡眠などを関連づけています。

メモ

日本の医療満足度は本当に低いのか

藤原楓華 大林小絃 岸本晴加 岡本悠里 山中志保 石岡朝陽

SDGs 番号: 10, 人や国の不平等をなくそう

日本の医療技術は世界で見ても高いという結果が出ています。しかし、技術が高いにもかかわらず、日本の医療満足度は世界で見ると低いのです。なぜ医療技術は発達しているのに満足度は低いのか。また、この医療満足度が低いという結果は他の県・地域だけで、私たちの地域の方々は満足している可能性もあります。今、結果が出ているデータと私たちの地域の結果を見比べ、実際のところどうなのかを知りたい、改善できる点が新たに見つかるかもしれないなどの理由が動機です。アンケートを取ったり、調べたり、今できる限りのことをして頑張っています。未来の医療に繋がりますように！

メモ

福井サーモンを全国の人に

安田健人 竹中凜太郎

SDGs 番号: 11, 住み続けられるまちづくりを, 14, 海の豊かさを守ろう

今回福井サーモンに興味を持ち調べることにしました。私たちは今海の近い福井県に住んでいます。そんな中、海洋産業に興味を持ち、近年福井県で養殖に力を入れている福井サーモンについて興味を持ちました。調べていくにつれて福井サーモンの多くの魅力を知り、また他の養殖サーモンとの多くの違いを知ることができました。まだまだ福井サーモンには改善点がありますが本当に素晴らしいものなので、是非皆さんに知ってもらいたいと思い調べました。

メモ

福井の鯖を広める

永木晴之

SDGs 番号： 12. つくる責任 つかう責任, 14. 海の豊かさを守ろう

福井県の伝統料理である鯖を広めるにはどうすれば良いのか研究しました。鯖は古くから若狭町に関係しています。若狭から京都に海産物が運ばれた鯖街道には熊川宿があります。それなのにどうして鯖の認知度が低いのでしょうか？理由としては2つあると考えました。1つ目は鯖の漁獲量と後継者の低下、2つ目は外国産の鯖が輸入されているということです。これらの課題をどのようにすればいいのか研究しました。

メモ

スポーツで怪我をしないようにすること

三宅晃平 東晃成 平井迅

SDGs 番号： 3. すべての人に健康と福祉を

自分たちは部活動をしていて怪我をすることが多く、どうしたら怪我を防ぐことができるのか知りたいと考えました。怪我をしてしまった時どのような道具を使ったら早く治せるか、またその道具の使い方も知りたかったので、道具について詳しく調べてみました。

メモ

美浜総合公園にカフェを作ったらどうなるか

佐野夏香 武田日莉 小堀仁美 松村菜美 宮田愛梨

SDGs 番号： 11. 住み続けられるまちづくりを

みなさん、家の近くにある公園を利用していますか？また、その公園はたくさんの方が利用していますか？きっと、少なくなっていると思います。そこで、私たちはたくさんの方が集まっている美浜町の総合公園をもっとたくさんの方に利用してもらい、さらに1日楽しめる公園にしたいと思い、このテーマのもとで検討した結果、カフェを作ろうと思いました。普通のカフェではなく、私たちなりに親子づれの方や、色々な人が不便なく楽しめるカフェを考えました。

メモ

イルカはどうして人気なのか

赤尾十和 清水空 清水萌生 濱野天音

SDGs 番号： 14. 海の豊かさを守ろう

イルカが若狭湾にいることを知り、イルカの身体作りや人気の理由を調べました。イルカが近隣にたくさん来るようになれば観光客も増えると思います。イルカを観光資源にすることで、地元の海をきれいに保つようになり海の豊かさを守れると思います。

メモ

マイナースポーツを広めることによって健康寿命は伸びるのか

金松凌 岩崎麟太郎 上杉一 上野悠 山口遥平

SDGs 番号： 3. すべての人に健康と福祉を, 5. ジェンダー平等を実現しよう, 16. 平和と公正をすべての人に
調べた動機は、マイナースポーツを知って欲しい、スポーツをして健康寿命を伸ばして欲しい
と考えたことです。

現在調べている内容は、健康寿命はスポーツによって伸びるのかということです。

研究のまとめは、スポーツをすることによって健康寿命は伸びることがわかりました。

マイナースポーツを広めていきたい。

メモ

地域食材を使って健康寿命を伸ばそう

脇田蓮太郎 宮本大陸 江戸稜哉 竹中隆之輔

SDGs 番号： 3. すべての人に健康と福祉を

高齢化が進んでいるため地域食材を使って健康になればいいなと思いました。また梅干しな
どを使って健康寿命をのばしたり、腸腰筋のトレーニングをしたりして、寝たきりなどを予防
していくのが良いと思います。寝たきりは転ぶなどの事故が原因の一つになるので、そのよう
な事を食べ物やトレーニングでなくしていけるようにしたいです。

メモ

若狭地域の観光客を増やすために

蛭子谷眞祐 清水亜沙美 竹田鈴音 仲上碧美 石場涼香 鶴田このみ

SDGs 番号： 11. 住み続けられるまちづくりを

若狭地域の観光客を増やすために若い方も高齢者の方も楽しめるようなイベントなどを考えています。

メモ

福井県の食を堪能しよう

浅野萌菜 西村さくら 池野葉月 中塚弥季 鈴木紗也佳

SDGs 番号： 14. 海の豊かさを守ろう, 15. 陸の豊かさを守ろう

福井の四季の食をまとめ、これからも福井の食を守っていくためにも自分たちが何をしてほしいか考えて将来のためにプラスになることを考え取り組んでいます。

メモ

東京オリンピックは開催すべきか

山内慶亮 池田一晴

SDGs 番号： 10. 人や国の不平等をなくそう, 17. パートナーシップで目標を達成しよう

来年に東京オリンピックが開催されるため興味を持ったからです。

コロナの影響で延期になったことで、どのような影響が出るのかなど調べました。

東京オリンピックが開催したときのメリット・デメリットを出していき、開催したほうが良いのかどうか結論を出しました。

メモ

人間と動物の共存

西森鈴音 林星良 山口彩矢奈

SDGs 番号： 11. 住み続けられるまちづくりを, 16. 平和と公正をすべての人に

私たちは動物が好きで実際に保護施設から保護した猫や犬を家族として迎え入れられています。動物は意外にも人間と深い関わりを持っていると思います。その中で動物も人間も住みやすい街にするためには何ができるのか気になり、調べました。また動物の命も大切にしたいです。

メモ

今ある観光地を活性化させるためには

大西結歌 天谷有希 松下夕莉 木又美香 苜谷樺恋 武藤凜 嶋田恵梨花 藤崎日和子 安田亜里沙

SDGs 番号： 11. 住み続けられるまちづくりを, 14. 海の豊かさを守ろう, 15. 陸の豊かさも守ろう
「今ある観光地を活性化させるには」というテーマのもと、1から観光地を見直し、どのように発信し、観光客を増やすべきか考えました。PR不足や交通の便などたくさんの課題が見つかりました。多くの人が利用しているSNSを利用することが近道だという結論になりました。

メモ

みんなに愛される美方高校の制服とは

鳥居楓月 高橋永遠 高木志帆 忍田莉里佳、小坂幸乃

SDGs 番号： 5. ジェンダー平等を実現しよう, 16. 平和と公正をすべての人に

今の自分たちの制服を3年間使用するうえで、変えたいと思う点がいくつか出てきたので制服のデザインを一新したいと思いました。ジェンダーフリーや価格に論点をおいて、様々な視点から考えました。これこそが現代に見合った愛されるべき制服です。

メモ

若狭の特産物を地域と全国に

宇野佳純 田代志歩 山内伽那実 絵馬千夏 一幡優 大道凌旺

SDGs 番号： 12. つくる責任 つかう責任

私たちは自分の地域(若狭)の特産物を知ってもらい、食べてもらうためこのテーマにしました。そして若狭の特産物で料理を作り、若狭内で特産物を消費するレシピを考案し、それを本またはWebページなどで拡散しようと考えています。または、町内の人と試食会を行いたいと思っています。

メモ

空き家をシェアハウスに

松見遥 長谷川和香奈 吉本梨乃 和田理絵瑠

SDGs 番号： 11. 住み続けられるまちづくりを

私たちは若狭町にあるたくさんの空き家をシェアハウスや貸家にして、若狭町に住もうと思っている学生たちにとって住みやすい町を作ろうと考えました。調べようと思ったきっかけは、若狭町には多くの空き家があるので、それを生かした何かが出来ないかなと考えたからです。空き家を利用するには、まず所有者の人に話をしてから、たくさんの人の手を借りたりしないといけないことが分かったので、私たちは、こんなシェアハウスや貸家があればいいなという理想について考えました。

メモ

福井の特産品「梨」を広めたい！

北尾琴里 東花倫 右近稀乃香 百田和加

SDGs 番号： 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう, 12. つくる責任 つかう責任

保育所のあるときに行事で梨狩りに親子で行ったことがあり、とても楽しく美味しく頂いたことが思い出に残っています。その梨について詳しく調べ、梨の良さや梨を販売するにあたっての問題、梨を作る大変さなどを農業者の方に聞き、理解してもらいたくさんの方にも美味しく食べてもらいたいです。

メモ

鳥獣被害を防ぐには？

岸樹輝 若新翔太 武岡空 辻野俊介 宇野倅葵 中村虎徹

SDGs 番号： 2. 飢餓をゼロに, 12. つくる責任 つかう責任

若狭町は鳥獣被害が多く、農業をしている方や畑をしている方が迷惑したり、交通事故などが起きてしてしまうこともあることから、どうしたら鳥獣被害を減らせるのか考えたかったからです。また、それを料理に使用できないか考えて伝えたかったからです。

メモ

高校生が食べたくなるようなへしこ料理

高木里帆 東野可奈未 久保樹 西野遥

SDGs 番号: 12. つくる責任 つかう責任

私たちはへしこについて調べています。へしこは福井県の特産品で有名ですが、皆さんはへしこを食べたことがありますか?? 好みが別れるへしこを高校生を対象にして、美味しさを分かってもらおう! こんな料理にあう! ということを皆さんに分かってもらいたくて研究しています!

メモ

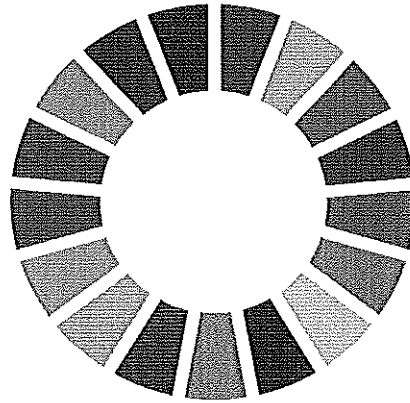
嶺南の町を活性化させるには

山口莉奈 北山絢菜 武田一吹 嶋田友愛 藤田滯 菊地京華

SDGs 番号: 11. 住み続けられるまちづくりを

動機は自分たちの住んでいる市町をもっと発展させたいと思ったからです。県外の人からも住みたい、住み続けたいと思ってもらえるまちづくりをしたいと思いました。調べている内容は嶺南の現状(いいところ、わるいところ)、活性化していけそうな部分です。例に美浜町のホームページをあげて、改善した方がよい点や、見た人が興味を惹かれる内容となるように客観的な意見を取り入れました。

メモ

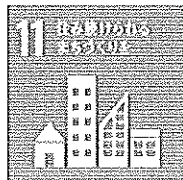


**福井県立美方高等学校は、
SDGsの達成に貢献することを宣言します。**

地域や社会の持続可能な発展のために、生徒の興味関心に基づいた課題についての探究活動を計画・実施します。

- 自ら問いを持ち主体的に考える学習を支援します。
- 地域の課題を自らの課題として担うことで、未来の地域創造を推進します。
- 地域の方や専門家との対話を重ね、関係を深めます。

（達成に向けて取り組む主なゴール）



令和 2年 8月 4日

福井県立美方高等学校

学校長 木本 健